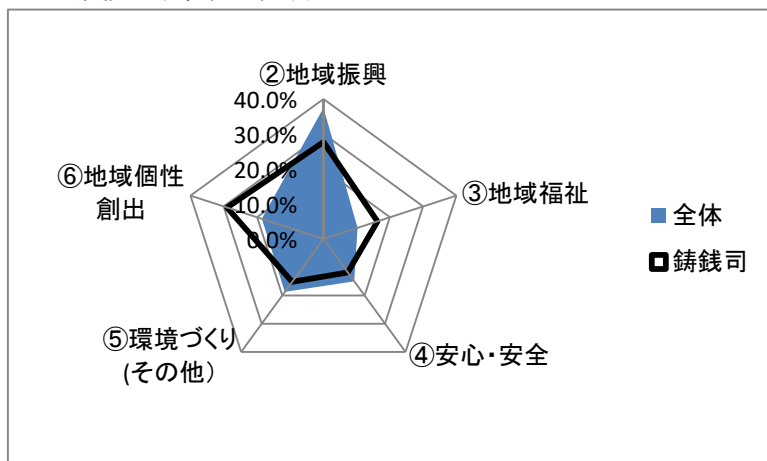


## 鑄銭司自治会 地域づくり交付金事業概要(令和2年度)

### ■地域の情報

地域人口	2,845人	自治会数	18
世帯数	889世帯	自治会加入率	84.8%

※数値は、令和3年4月1日のもの



### ■決算状況

交付金配分枠	11,023,000 円
交付金決算額	11,023,000 円
その他収入	81,042 円
交付金決算額／配分額	100.0%

### 各分野の決算

①協議会運営	4,955,868 円
②地域振興	496,863 円
③地域福祉	291,481 円
④安心・安全	212,502 円
⑤環境づくり(土木工事)	4,354,000 円
⑤環境づくり(その他)	272,935 円
⑥地域個性創出,地域学習	520,393 円
<b>決算総額</b>	<b>11,104,042 円</b>

### ■地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

### ■総括

第2次地域づくり5カ年計画の最終の年であったが、新型コロナの影響により風鎮祭など、地区民が交流するような事業を中止することとなった。その中で、三密を避ける工夫をして、三世代交流事業や防災訓練などを計画通りに実施できたことは、次年度以降の事業を進める上で大いに参考となった。

### ■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長・事務局員給与、事務費
② 地域振興	地域情報発信事業、地域振興・交流事業
③ 地域福祉	教育・福祉関係事業
④ 安心・安全	防犯対策推進事業、防災活動推進事業、交通安全推進事業
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、環境美化運動
⑥ 地域個性創出	地域資源PR事業、伝統文化の継承事業 《地域学習事業》 郷土読本PR事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	環境美化運動事業	決算額	272,935円
	目的	長沢池周辺を地域内外の憩いの場として整備		
	実施内容	①地域一斉清掃活動の推進 ②芝桜の管理など花づくり活動の推進		
	実施時期	①11月 ②9月、2月		
	参加人数	①50人 ②8人、180人		
	成果	①通学路や歩道に放置されたゴミや空き缶等の回収を実施した。 ②長沢池の芝桜の草取り及び、松島の枯れ枝や枯葉の回収を実施した。		
	評価	①環境美化活動を通して、企業と地域住民との交流が図れた。 ②地域の子どもから高齢者までが参加して、芝桜の植栽や草取りを行うなど、三世代交流が図れた。		
	今後に向けて	鑄銭司を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」と感じてもらえ、また訪れてもらえるように、美化活動・花のある地域づくりを継続する。		
②	事業名	地域資源PR事業	決算額	108,900円
	目的	後世に残すべく貴重な資源の発掘		
	実施内容	地域行事と地域資源を載せたカレンダーの制作		
	実施時期	3月		
	参加人数	750世帯・51社・14施設		
	成果	国史跡周防鑄銭司跡や、長年大寶、承和昌寶、木組井戸など、周防鑄銭司ゆかりの写真及び地域行事日程を記載したカレンダーを作成し地域内に配布した。		
	評価	地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られやすく、同時に地域内の史跡について若い世代に再認識してもらえた。		
	今後に向けて	地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に参画する人の拡大につなげていく。		
③	事業名	地域振興・交流事業	決算額	331,850円
	目的	行事を開催することにより幅広い層の参加者の確保及び地域住民相互の連携強化		
	実施内容	①地域行事等の運営の支援 ②地域と企業との交流事業開催(中止)		
	実施時期	①11月 ②1月(中止)		
	参加人数	①1200人		
	成果	①新しい交流センターで、初の開催となったクリスマスイルミネーションフェスティバルには、子供を中心に約180人の参加があった。その後、12月1日から翌年1月11日までイルミネーションを点灯し、地域内外から多くの人が訪れたことにより地域が盛り上がった。 ②新型コロナウイルス感染防止のため中止。		
	評価	①コロナ禍に有っても三密にならないよう、イルミネーションの飾付を屋外の屋根や国旗掲揚ポールなどに行なったことで、恒例となっているクリスマスイルミネーションフェスティバルが開催でき、イルミネーションの飾付や、カウントダウンのイベントなどを通じて三世代交流が図れた。		
	今後に向けて	①子どもたちもイルミネーションの飾付けが楽しめるように、高所から地上に飾付を変更して、子どもたちが自由に飾り付けられるように工夫する。		